

HITOKOMART

特別編

ペン1本でプーチンと闘う漫画家たち

篠原ユキオ

1948年 東大阪市生まれ
京都教育大美術科卒
京都精華大学名誉教授
(公社)日本漫画家協会参与
FECO JAPAN 会長

ロシアがウクライナに侵攻したのは今年の2月24日だった。世界の多くの国がその暴挙に憤りウクライナへの支援を続けてきた。世界中の風刺漫画家の団体FECOの日本支部 (FECO JAPAN)は私がまとめ役を引き受けているのだが、国内のメンバーから抗議の漫画展を提案されたことがきっかけで、海外の漫画家たちにも声をかけて抗議の風刺漫画展を開こうという事になった。

各国の漫画家たちに連絡を入れると瞬間に作品が送られてきた。それは最終的に日本の漫画家たちを含めて13カ国から170点近くが集まり、その中からセレクトしたものを4月の京都国際マンガミュージアムを皮切りに・大阪・鳥取・埼玉へと6カ月近くに渡り各地での巡回展示を実施し、新聞やテレビでの報道のお力もあって多くの方々に想いを伝えることができたのだ。

そして、9月にはこの展覧会でつながりができたウクライナの漫画家たちに新たに声をかけ、今も現地で戦禍にあっても抗議の漫画を描き続けている人たちの生の声を届けるための展覧会を開く事にした。これには長年お付き合いのあった京都のギャラリー・余花庵が、それに応えて会場を無償で提供して下さった。

それは『ウクライナからの手紙』というタイトルで、ウクライナの6人の漫画家たちの作品60点を展示し、多くの人たちに彼らの切実な想いを伝える事ができたのだ。

そんなわけで今回は連載中の私の『HITOKOMART』の作品はお休みにしてその展覧会の作品から一部をご紹介します事にしました。それぞれの漫画家の紹介とともに私のブチ解説も付け加えているのでご覧いただきたい。

この展覧会は広いギャラリー・図書館・公民館・など、展示作品の管理が確かな会場があれば作品の貸し出しを無料でさせていただきます。(但し作品の郵送や実際の展示に関わる費用はご負担をお願いします) 展示物はA-3サイズの風刺漫画が60点、作者の紹介パネル・企画内容パネル・ポスターを含めて計70点ほどあります。展示をご検討頂ける施設、会場の担当者の方は一度当方までメールでご連絡をお願いします。

hukurokouji1972117@yahoo.co.jp (篠原ユキオ)



OLEG GUTSOL



Kazanevsky Vladimir



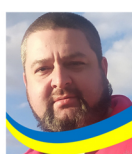
Alexander DUBOVSKIY



Oleksiy Kustovskiy



Viktor Holub



Viacheslav Kazanevsky



ウクライナの漫画家たちによる諷刺漫画展

ウクライナからの手紙

9/13(水)~25(日)

〒604-0925
京都市中京区南通津池上ル上本町前町475
Tel:075-212-9793 Fax:075-212-9795
E-mail: info@yokaan.com
https://yokaan.com

余花庵 喜聞堂

AM10:30~PM7:00
最終日は~PM6:00
主催:FECO JAPAN
協力:アートスペース余花庵

ウクライナからの手紙 ぐあいさつ

ロシアがウクライナに侵攻して半年が経ちました。世界中が注視し抗議中、状況は変わらず、ウクライナの人々の苦しみは今も続いています。

これに抗議して多くの諷刺漫画家は侵襲直後からそれぞれの場所から怒りと抗議の漫画を描き続けています。

FECO JAPANは3月に世界各所の漫画家たちを呼びかけて、ロシアに対する抗議と平和を訴える国際漫画展を企画し実施しました。それは同じ思いを持つ多くの方々との協力を得て、4月に京都市国際マンガミュージアムで「平和への100の扉」展としてスタートしました。

6月には大阪東区東町11号(アラス) 展における1ヶ月半の展示に続き、作品数は約150点に増えました。

7月には鳥取県まがま王国・宇井町の広域も頂き、鳥取県内の鳥取一米宇吉の3市での巡回展につながりました。この動きはいつもの新聞社、TBSのサンデーモーニングやNHKの全国ニュースでも報じられ、世界の漫画家たちの想いをたどる人たちに届ける事ができました。

しかし、世界は依然として変わりません。

このたび、京都のギャラリー「余花庵」さんの全面的なご協力を頂き、この漫画展を開催する事になりました。ウクライナで活躍する風刺漫画家6人は、ここからの呼びかけに賛同し、すでにいくつもの作品を送ってくれました。

皆さんにおかれ一人一人の強い思いがひしひしと伝わってきます。この展覧会では6人の漫画家からの作品とともに、日本人たちへのメッセージも紹介します。

作品点数は選べる合計60点を展示いたします。会場にお越し頂きウクライナの漫画家からの強い思いをそれぞれの作品から感じ取って頂ければ幸いです。

FECO JAPAN 代表・篠原ユキオ

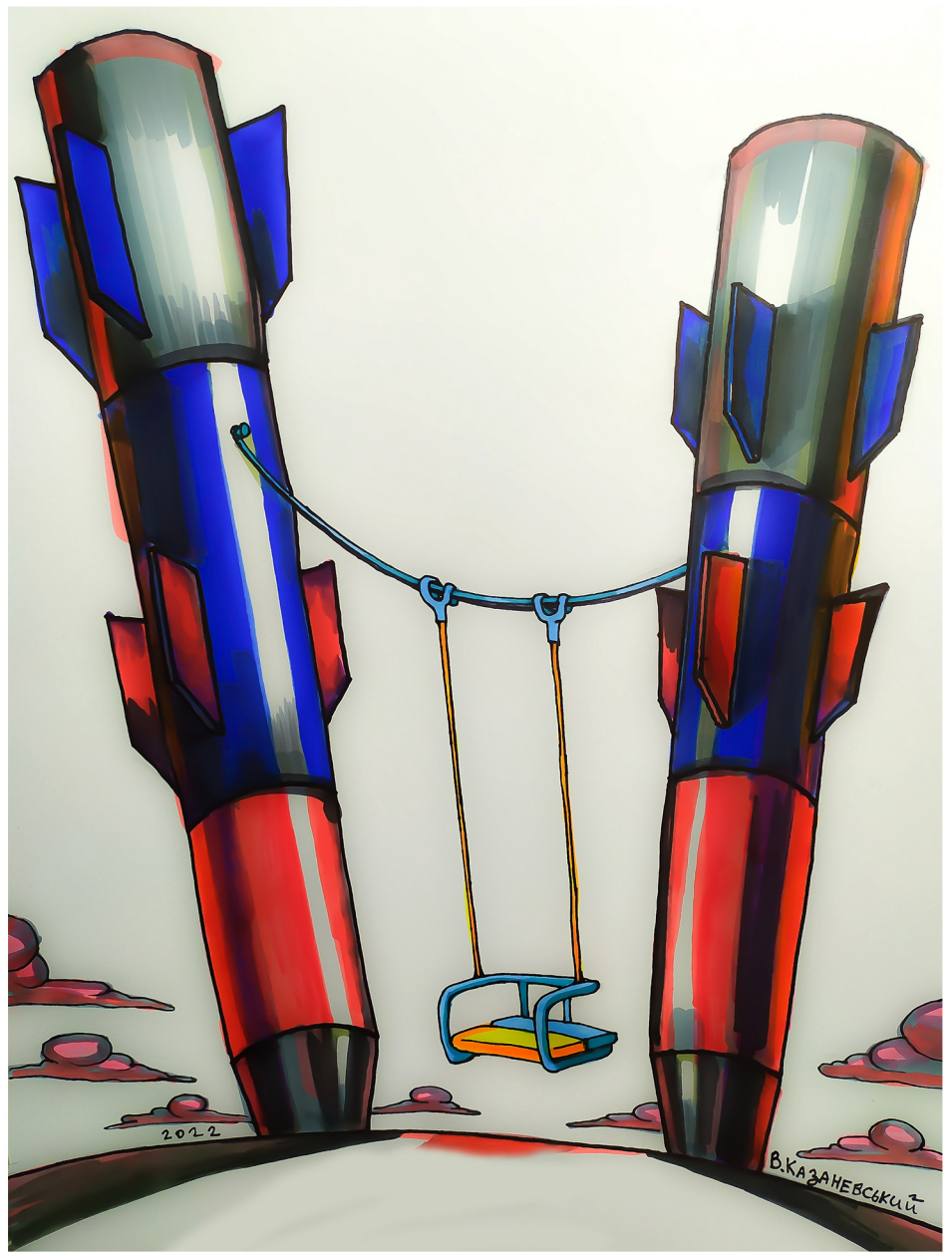


地下鉄東山線：京都市役所前駅 11 番出口より約 1 分
京阪電車：三軒丸太 19 番出口より約 7 分



FECO (The Federation of Cartoonists Organizations) は、1987年、ウクライナを中心にヨーロッパで活躍する漫画家たちによって設立された世界で唯一の漫画家による国際団体。目的、精神の国際的連帯を目的とするに留まらず、1997年、アラスカ州にては世界最大の漫画家による国際展、国際展「FECOコンベンション」を開催しました。1998年に国際的な活動の発展を促すために国際連帯機構、1999年にはあらためて世界最大の FEFECO JAPAN を設立し、海外作家の交流を中心とした国際展を開催してきました。そのほか、全国規模の国際展、2014年からは京都府立総合文化センターの国際展スペースがその役割を担い、開催に努めます。(篠原ユキオ FECO JAPAN 会長より)

平和の象徴とも言えるフリンコだが、それを支えているのはロシアの国旗の色をした巨大なミサイルである。
 プーチンがこの侵攻の正当性を唱えるウクライナの解放や平和というお題目が、自身の軍事力やウソによって作られているのだということ伝えてくる。



Viacheslav Kazanevsky

ピアチェスラフ・カザネフスキー

1983年キエフ市生まれ。

2007年 国立美術・建築アカデミーで芸術家・画家・モニュメンタリストの資格を取得

2008～2009年、キエフ国立工科大学で絵画と素描の教員

2008-2010年、風刺と政治の雑誌「Paraska.info」の芸術編集者

2020- ウクライナの芸術家の国民連合のメンバーとなる

2021年 I-UA.TV チャンネルの 9 つのエピソードでMCを担当

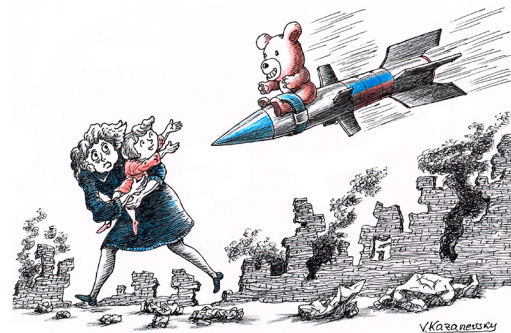
2021年 現代美術アカデミーで似顔絵、似顔絵、漫画の教師。

世界各国での国際似顔絵コンテスト、展示会、フェスティバルに参加している





ロシア兵が軍靴の底にへばりついた人型のようなものを、ナイフで削り落としている。
これはウクライナやロシアの地図で使われている国境の表記だそうだ。それを知ると、この作品が描くモノの恐ろしさが伝わってくる。
ためらいなく踏み潰した国境線の残骸を削り落とす兵士の、無表情な顔にプーチンの本質を見る気がする。



Kazanovsky Vladimir

ウラジミール・カザネフスキー

1950年 ウクライナのレベディン生まれ。

1973年 ハリコフ州立大学「宇宙放射線物理学」部門を卒業

1984年 キエフ ジャーナリズム スキル研究所「プレス アーティスト」部門を卒業。

作品は、世界中の多くの新聞や雑誌に掲載されている。

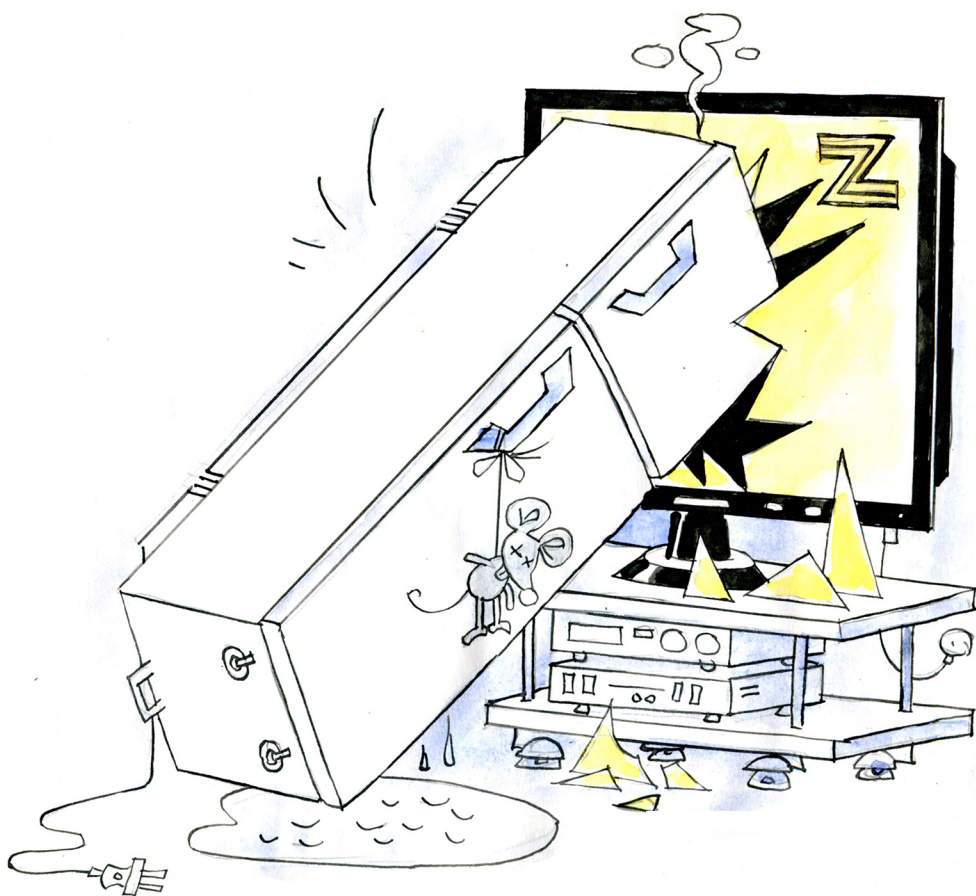
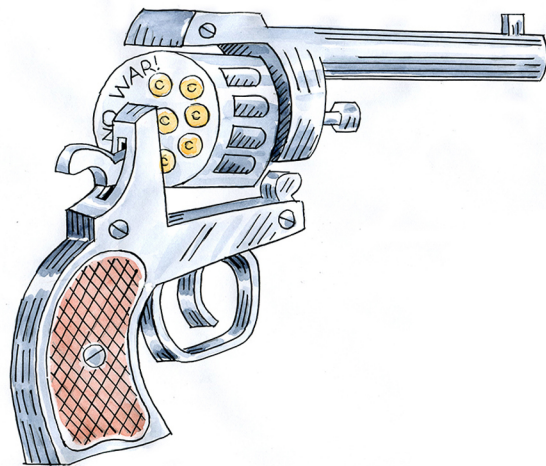
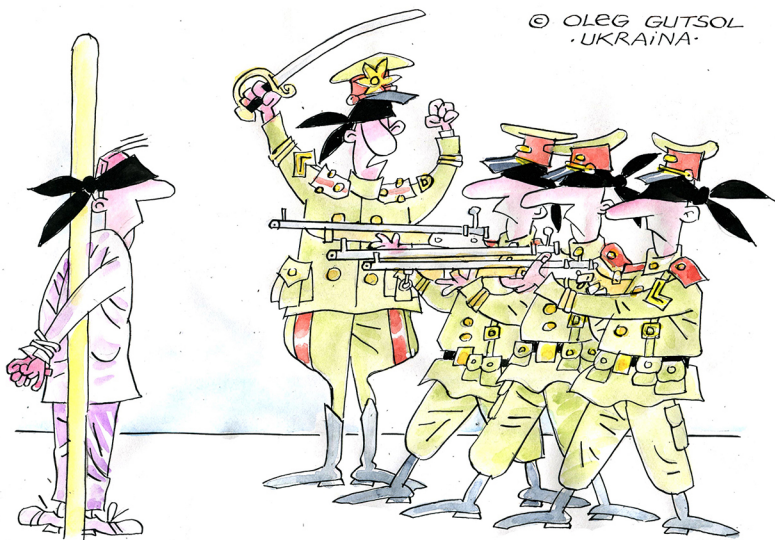
新聞ではWashington Post、「読売新聞」、「Le Monde」、「Ouest-France」

そしてウクライナでは「Kiev Post」に作品が掲載された。

雑誌では「Courier International」、「Sine Mensuel」、「Nebelspalter」、「Witty World」、「Welcome to Ukraine」、「Eulenspiegel」、「Berlingske」など多数に上る。



© OLEG GUTSOL
UKRAINA



ロシアでは昔から良く使われている言い回しに『テレビvs冷蔵庫』というのがあるそうだ。テレビはプロパガンダを指し、冷蔵庫は現実の生活を表している。この事を知るとこの漫画の表現するロシアの人たちのリアルな感情が伺うことができる。冷蔵庫の中が空になった時、ロシアの一般市民たちもプーチンの嘘に気がつくのである。

OLEG GUTSOL

オレグ・ガットソル

1964年 ウクライナ生まれ。

1983年 Kirovograd 機械製造専門学校を卒業

1994年 キエフ国立大学 (ジャーナリズム学部) を卒業。

1987年 漫画家としてデビュー。

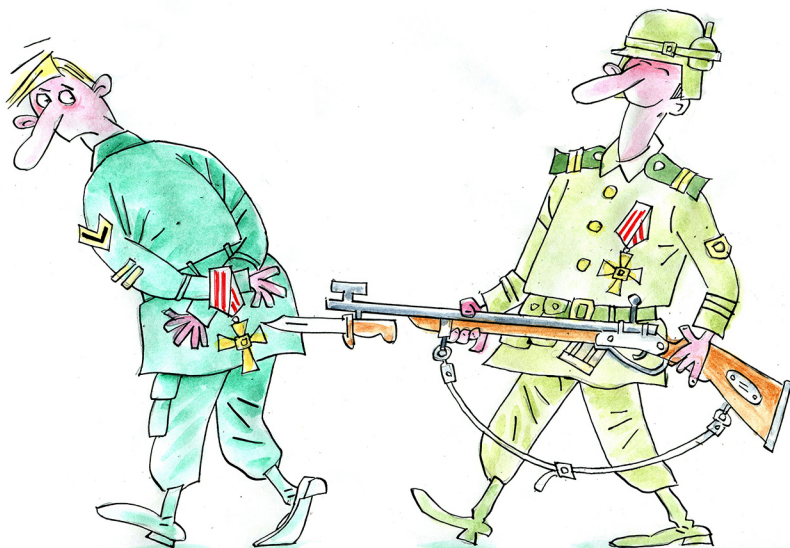
以後、Perets(ウクライナ) ポジック、ピクニック、シャポクリアク、15 ストク、カランブル、オーディンドマ (ベラルーシ) クロコディル、チャイアン (ロシア) など多くの新聞や雑誌にも掲載される。

1989年~ウクライナのジャーナリストの全国連合のメンバーとなり、2004年に、ウクライナのカトゥーニスト協会に参加。

1998 年以来、400 以上の国際漫画コンテストや展示会に参加し多くのを受けている。

ブラックユーモアなどのCARTOONの作品集が多数ある。

現在は子供新聞「Shapoklyak」(ベラルーシ)のアーティストとして働いている。



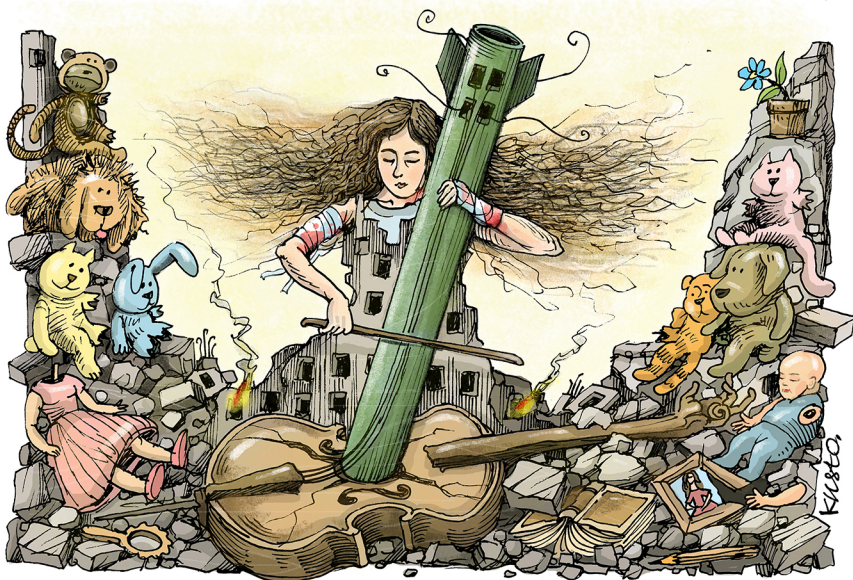


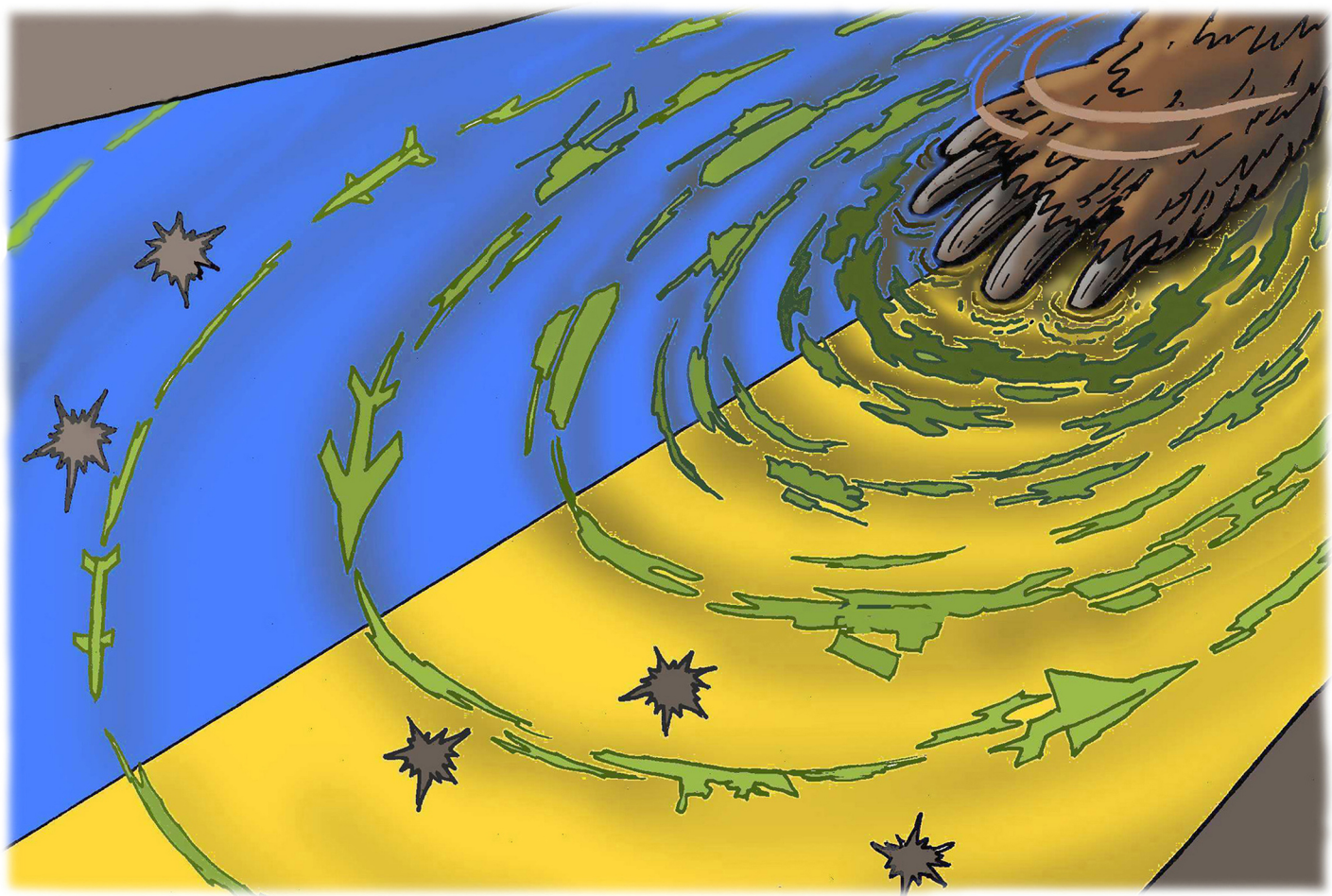
Oleksiy Kustovsky

私の名前はオレクシー・クストフスキーです。

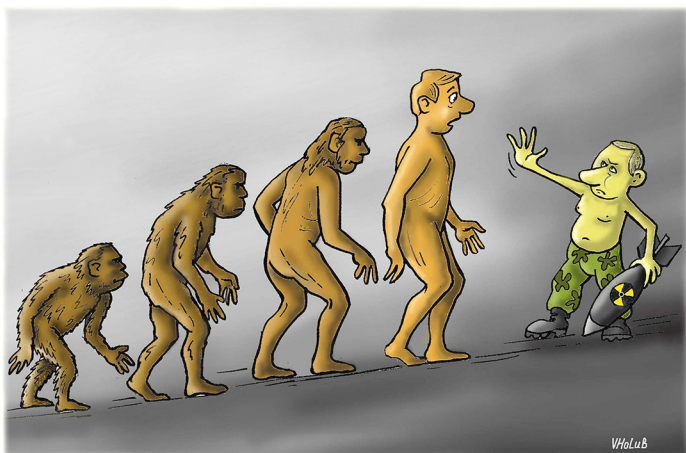
私はウクライナの漫画家です。ロシア軍がウクライナに侵攻して以来、私はこの恐ろしい戦争について毎日1枚の風刺画を描き続けています。

ウクライナを象徴するひまわり畑がミサイルによって焼かれて
いる。
中央のひまわりの姿はわが子を
抱き抱える母親の姿を連想させ
る。
ウクライナの大砲から打ち出さ
れる砲弾はウクライナの国旗の
色をした虹を描いている。
空を飛ぶ2羽のコウノトリは来
るべき平和の地を目指している
ようだ





多くの一コマ漫画に登場する熊はロシアを象徴するキャラクターである。ウクライナの国旗の色の水面に踏み出した熊の足元に浮かぶ波紋は戦車やミサイルや爆撃機の形をしている。



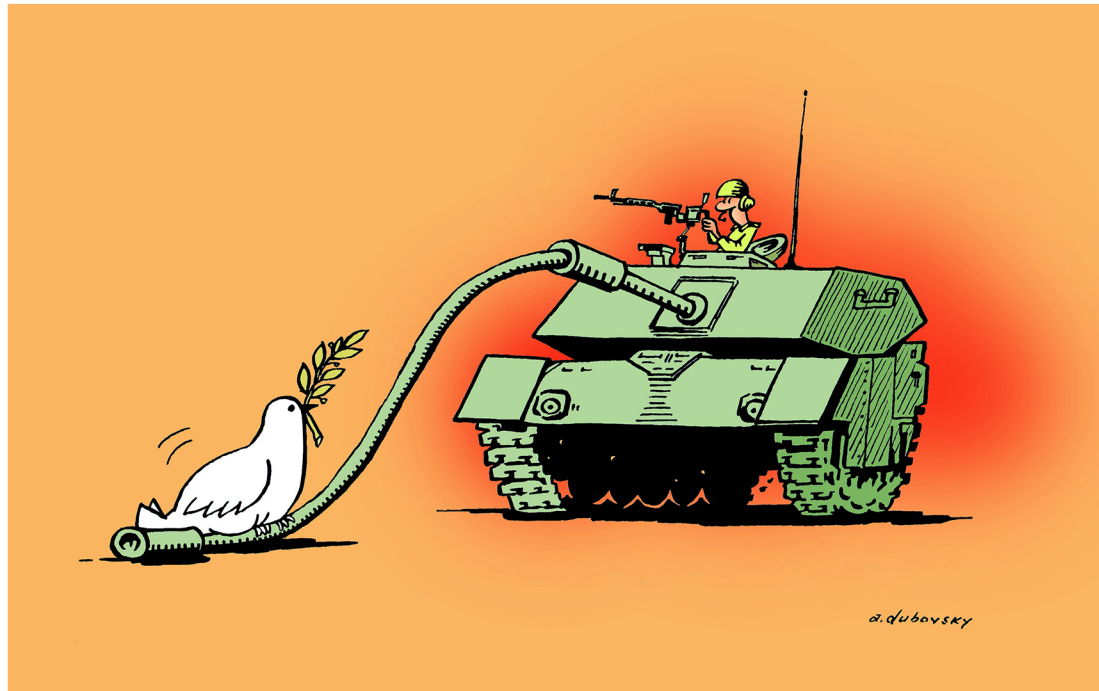
Viktor Holub

ヴィクトル・ホルブ

ウクライナは、その歴史の中で非常に困難な時期を迎えています。ロシアによる卑劣で理由のない侵略の結果、多くの民間人が死亡し、インフラが破壊され、都市や村全体も破壊されました。この困難な時期には、全世界の人々の支援が非常に重要です。私たちは、日本政府と日本国民の連帯と大きな支援に心から感謝しています。一緒に勝ちましょう!



何ヶ月もの戦闘の結果、膨大な数のロシアの旧式戦車がウクライナ軍によって破壊され、あるいは捕獲され使い物にならなくなっている映像を見る事ができる。ウクライナの人たちの平和を取り戻そうという強い想いがこのハトの姿に凝縮されているように見える。



Alexander DUBOVSKYI

アレクサンダー・デュボフスキー

ウクライナは平和な国です。私たちは青い空の下でパンを育てました。そこで漫画家たちは平和な漫画を描きました。しかし、この戦争ですべてが変わってしまいました。私たちは迅速な勝利を信じています。平和な空、そしてすべての親戚や友人たちが生きていて、健康でありますように！

